

# 又市議会だより

ぬまづ

令和2年2月15日  
第226号



令和2年（第22回）新成人議会（市議会本会議場）

※関連記事は P.12

## ピックアップ議会

- 沼津市中心市街地まちづくり戦略(案)について  
沼津駅周辺をヒト中心の魅力ある空間へ ..... P.2

## 市政について問う！

- 20人の議員が一般質問を行いました ..... P.4～9

## 委員会レポート

- 委員会行政視察報告 ..... P.10～11

沼津市中心市街地まちづくり戦略は、沼津駅周辺総合整備事業を契機として、沼津駅周辺の公共空間を車中心からヒト中心の魅力ある空間へと再生し、都市の顔として再構築していくために、今後取り組むべきまちづくりの施策の方向性を示すものです。

その戦略案について、建設水道委員会にて報告がありましたので、お知らせします。

## 沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）の概要

### ～沼津駅周辺総合整備事業とともに進めるまちづくりの4つの戦略～

#### 戦略Ⅰ ヒト中心の公共空間の創出

- 沼津駅周辺がヒト中心の市街地となるよう、公共空間の再編と、これを実現するための地区交通体系の再編を図ります。



▲沼津駅南口駅前広場周辺の将来イメージ（試案）



▲沼津駅周辺の空間・交通再編のイメージ（試案）

#### 戦略Ⅱ 拠点機能の立地促進

- 沼津駅周辺総合整備事業により生み出される車両基地や貨物駅などの鉄道施設跡地や高架下の空間について、それぞれの立地特性やニーズを踏まえ、地域の発展に資する都市機能の導入を図ります。

#### 戦略Ⅲ まちなか居住の促進と市街地環境の向上

- 空き店舗・平面駐車場などの低未利用地を活用しつつ、利便性の高さを活かしたまちなか居住を促進するとともに、市街地環境の向上を図ります。

#### 戦略Ⅳ 周辺地域資源との連携

- 中心市街地と狩野川や沼津港などの周辺地域資源を結ぶネットワークを充実させ、中心市街地の魅力を高めます。
- 沼津駅とつながる都市計画道路を、歩行者や自転車にとって快適な空間が確保されるよう整備し、周辺住宅地の利便性の向上を図ります。

※本戦略は、令和元年度中の策定を目指しており、策定後は、市ホームページで公開予定です。

## 沼津駅周辺をヒト中心の魅力ある空間へ

——沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）について——

### 建設水道委員会での主な質疑

**問** 車両基地跡地に整備する施設との整合性の中で、市民の声を聞いて、関連する道路計画を変更するなどの考えはあるのか。

**答** 車両基地に向かう道路については、現状では変更することは見込んでいない。

**問** 戦略を推進するためには、駐車場や空き店舗の問題など、民間との協働、協力が必要だと考えるが、その認識は。

**答** 行政だけでなく、官民連携の取り組みは非常に大切である。令和元年度実施した七通線での社会実験で

は、高校生のアイデアをさまざまな実験ツールとして取り入れた。民間事業者や若い意欲のあるプレーヤーの方々と情報を共有し、取り組みの早い段階からまちづくりに関わっていただくことが、成功の鍵の一つになると考えている。

**問** 財政計画に対する認識は。

**答** 今回の戦略は、沼津駅周辺総合整備事業を契機に、今後の中心市街地がどのような方向で進んでいくのかを整理して示したものであるが、その具体化に当たっては、財源も含めしっかり検討していきたい。

# 11 月定例会の主な内容

第3回（11月）定例会は、11月26日に開会し、12月17日までの22日間にわたり開催しました。この議会では、令和元年度補正予算議案等12件と議員提出議案2件を審議し、いずれも原案のとおり議決しました。

また、20人の議員によって一般質問が行われ、活発な議論が交わされました。（P.4～9）  
この議会の主な内容を紹介します。

## 主な議案一覧

|       | 議案名                                        | 内 容                                                                                                                                                                                                                   | 議決結果 |
|-------|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 条 例   | 議第115号<br>沼津市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正 | ■足高地区計画の都市計画決定に伴い、条例の適用区域に追加します<br>足高地区計画の都市計画決定に伴い、条例の適用区域に足高地区整備計画区域を追加するほか、所要の改正を行うものです。                                                                                                                           | 可決   |
|       | 議第116号<br>沼津市駐車場条例の全部改正                    | ■市営香貫駐車場の再整備に伴い、条例を全部改正します<br>市営香貫駐車場の再整備に伴い、市営駐車場の設置及び管理について規定するため、条例の全部改正を行うものです。                                                                                                                                   | 可決   |
|       | 議第117号<br>沼津市総合体育館条例の制定                    | ■総合体育館の整備に伴い、設置及び管理について定めます<br>総合体育館の設置及び管理について規定するため、条例の制定を行うものです。                                                                                                                                                   | 可決   |
| 予 算   | 議第118号<br>令和元年度沼津市一般会計補正予算（第4回）            | ■13億9,760万円を追加し、予算総額は742億993万8,000円となります<br>追加したものは、退職手当等の職員人件費6,080万円、財政調整基金積立金9億1,355万9,000円、児童扶養手当支給事業費1億6,690万円が主なもので、財源としては、それぞれの特定財源のほか、一般財源として繰越金などをもって充てるものです。                                                | 可決   |
| 契 約   | 議第120号<br>特定事業契約の締結（香陵公園周辺整備PFI事業）         | ■香陵公園周辺整備PFI事業を実施するため、特定事業契約を締結します<br>総合評価一般競争入札により127億89万6,800円で沼津市大岡2133番地54、沼津NEXT株式会社代表取締役大橋成基と特定事業契約を締結するものです。事業の内容としては、御幸町地内において、総括管理業務、総合体育館、駐車場及び外構の設計業務、建設・工事監理業務、開業準備業務、維持管理・運営業務等を行うもので、事業期限は令和20年3月31日です。 | 可決   |
| そ の 他 | 議第114号<br>町の新設及び町の区域の変更（下小路町ほか）            | ■千本地区土地区画整理事業の下河原工区において、町の新設及び町の区域の変更をします<br>東駿河湾広域都市計画千本地区土地区画整理事業下河原工区において、本市内の字の区域をもって町を新設し、及び町の区域を変更するものです。                                                                                                       | 可決   |

☆このほかの議案については、沼津市議会のホームページをご覧ください。

沼津市議会

検索



## 会派別 賛否が分かれた議案一覧

○＝賛成 ×＝反対 ※（ ）内は所属議員数

|     | 議案名                             | 議決結果 | 志政会<br>(7) | 自民沼津<br>(6) | 市民クラブ<br>(4) | 公明党<br>(3) | 未来の風<br>(3) | 立憲沼津<br>(3) | 沼津日本共産党<br>(2) |
|-----|---------------------------------|------|------------|-------------|--------------|------------|-------------|-------------|----------------|
| 条 例 | 議第116号 沼津市駐車場条例の全部改正            | 可決   | ○          | ○           | ○            | ○          | ×           | ○           | ○              |
|     | 議第117号 沼津市総合体育館条例の制定            | 可決   | ○          | ○           | ○            | ○          | ×           | ○           | ○              |
| 契 約 | 議第120号 特定事業契約の締結（香陵公園周辺整備PFI事業） | 可決   | ○          | ○           | ○            | ○          | ×           | ○           | ○              |



# 市政について 問う！

第三回（十一月）定例会では、二十人の議員が市政について質問しました。

## 一般質問

| 議員名   | 主な質問項目                         | 掲載頁 |
|-------|--------------------------------|-----|
| 井原三千雄 | 中心市街地の商業振興、新市民体育館、地域資源の活用      | 4   |
| 市川 道隆 | フェンシングのまち沼津、新中間処理施設整備、定住人口確保対策 | 4   |
| 小澤 隆  | にぎわいづくりの着眼点、まちづくりへの市民参加        | 5   |
| 加藤 明子 | 災害対策、避難所運営、情報伝達、ペット同行避難、自転車条例  | 5   |
| 渡邊 博夫 | 新学習指導要領、児童生徒の発達支援、SDGs、気候変動    | 5   |
| 山下富美子 | 児童発達支援センターみゆき、専門職の受け入れ体制       | 5   |
| 大場 豪文 | 統一的な基準による地方公会計制度               | 6   |
| 江本 浩二 | 本市の温室効果ガスの削減、焼却場でのプラごみ焼却       | 6   |
| 片岡 章一 | 幼児教育・保育の無償化、交通安全対策             | 6   |
| 長田 吉信 | 防災・減災対策、避難所運営、防災情報、停電と断水対策     | 6   |
| 小泉 宣子 | 食品ロス削減、インフルエンザ予防接種             | 7   |
| 原 信也  | 水害対策                           | 7   |
| 平野 謙  | 自殺予防の取り組み                      | 7   |
| 梅沢 弘  | 他市に類を見ない試算、高架訴訟一審判決、デジタルサイネージ  | 7   |
| 水口 淳  | 戸田地区の防災                        | 8   |
| 浅田美重子 | 非常用の電源確保策、不登校対策、障害のある児童生徒への支援  | 8   |
| 霞 恵介  | 自治会活動、外国籍の児童生徒                 | 8   |
| 渡部一二実 | 学校施設へのエアコン設置事業                 | 8   |
| 岡田 進一 | 高尾山古墳の保存と利活用、古代歴史資源の継承         | 9   |
| 川口 三男 | 「ヒト中心」の拠点都市の形、生活が完結できる地域拠点     | 9   |

※形式として質問形式を記載しています。

一括：通告した全ての内容を一括して質問した後、市当局が一括して答弁する方式

一問一答：議員からの一つ一つの質問ごとに、市当局が答弁する方式

複合：1回目は一括で行い、2回目以降から一問一答に切り替えて行う方式

全ての質問項目  
(通告一覧)はこちら



### フェンシングを生かしたまちづくりの取り組み状況と今後の方針は

**問** フェンシングを生かしたまちづくりの取り組み状況と今後の方針は。

**答 市長** 平成三十一年二月に日本フェンシング協会と全国初の包括連携協定を締結したほか、令和元年度は、フェンシング未経験者を対象とした体験会や、経験者を対象とした練習会、日本、カナダ、ドイツ、フランス代表による女子フルーレの合同合宿などを実施した。また、キャリア教育による学校訪問や、東京都で開催された全日本選手権大会のパブリックビューイングをららぽーと沼津で行うなど、フェンシングの普及に努めている。これらの取り組み

### 中心市街地の商業振興に対する本市の認識は

**問** さらばーと沼津が開業し、①二カ月が経過したが、交通混雑の状況は。②中心市街地の商業振興に対する本市の認識は。

**答 都市計画部長** ①令和元年十月二日の内覧会では、想定以上の来店車両が集中したことにより大きな交通混雑が生じたが、その後は一時的に交通混雑を引き起こす時間帯はあるものの、開業期の交通混雑として想定範囲内と認識している。なお、さらばーと沼津において、誘導経路上での案内看板の設置やプラカードを持った案内人の配置に加え、新たに臨時駐車場への案内強化を目的と

に加え、令和二年度は、国際大会の金メダリストの輩出に向けた強化練習を本格的に開始するほか、東京オリンピックの事前合宿としてカナダ代表及び日本代表フルーレチームを受け入れることも決定した。今後も、スポーツツーリズムの拡大を図ることでフェンシングのまち沼津のブランド形成を図っていく。



▲アスクラロ沼津ホームゲームでのフェンシング体験

市川 道隆 形式一括

したLED看板の設置や施設周辺での案内マップの配布などの交通誘導を行っている。

**産業振興部長** ②中心市街地の商店は、地域とのかかわりの強さを生かし、郊外の大店舗やネットショッピングとは異なる魅力を創出していくことが必要であり、小売、飲食、サービス業はまちの魅力を高め、豊かな暮らしを生み出す機能として重要な役割を果たすものと認識している。そのため、商工会議所、金融機関等と連携し、個店の経営改善や融資等のさまざまな相談、支援を行い、経営の安定に努めている。

井原 三千雄 形式一括

## 災害時の避難所運営に係る今後の取り組みは

**問** 災害時の避難所運営について、①災害の規模によつては、配備職員だけでなく、自主防災組織等と協力して運営していく仕組みが必要と考えるが、今後の取り組みは。②避難所運営マニュアルにペットの同行避難等について追記し、受け入れ体制を整える考えは。

**答** 危機管理監／①長時間にわたる避難所の開所や、多くの避難者への対応は、配備職員だけでは困難であり、自治会等と連携をとる必要があると考えている。そのため、現在、各地区センターや地区連合自治会と対策を協議、検討しており、今後、



▲ペットも大切な家族。災害時の同行避難についても考えておきたい

市と地域の連携体制を地区ごとの避難所運営マニュアルに反映していく。②動物愛護の観点、また、放浪動物による人への危害防止及び生活環境保全の観点からペットの同行避難は必要であると認識しており、今後、避難所となる各施設の管理者等と協議を行い、避難所運営マニュアルに反映したいと考えている。

加藤 明子 形式一 括

## 歩行者に寄り添ったまちづくりを

**問** 歩行者が周辺の見えるものに興味を持ち、滞留し、そこからアクティビティーが生まれ、にぎわいが創出されると考えるが、歩行者に寄り添ったまちづくりをしていく考えは。

**答** 都市計画部長／今後のまちづくりにおいて、公共空間をより人中心の空間に再編したいと考えており、沿津駅周辺を車中心から、人が居心地よく過ごし、安全で快適に回遊できる魅力的な空間へと再生するため、沿津市中心市街地まちづくり戦略会議を設置し検討、議論を重ねている。

**問** 幅員が広い歩道において、商業利用など、民間による活用を促進し

ていく考えは。

**答** 都市計画部長／沿津駅北口の七通線において社会実験アルコミチを実施するなど、新たな公共空間利用に向けた取り組みを進めており、民間事業者のビジネスチャンスのみならず、地域のにぎわい創出や沿道の景観向上など、さまざまな効果が期待できることから、地域住民や民間事業者にも意見を聞きながら具体的な検討をしていきたいと考えている。



▲道路を歩行空間にする社会実験アルコミチ

小澤 隆 形式一 括

## 児童発達支援センターみゆきにおける常駐の専門職の必要性は

**問** 児童発達支援センターみゆきにおける臨床心理士や言語聴覚士等の専門職による指導の状況は。

**答** 福祉事務所長／現在、児童発達支援センターみゆきにおいては、定期的に臨床心理士や言語聴覚士等の専門職へ業務委託することにより、児童やその保護者に対して、児童の発達等に関する指導、助言を行っている。

**問** 児童発達支援センターみゆきに常駐の臨床心理士や言語聴覚士等の専門職を配置することで、通所児童への専門的な指導に加え、保護者の負担軽減や保育士のスキルアップに

もつなぐと考えるが、常駐の専門職の必要性に対する本市の認識は。

**答** 福祉事務所長／臨床心理士や言語聴覚士等の専門職については、平成三十年度より業務委託の回数をふやし、児童や保護者への直接指導とするなど支援の拡大、充実を図ってきたところであるが、専門職の職員が常駐することにより、同じ職員が一貫して指導することができ、児童の発達に対して一定の効果があるものと認識している。そのため、他市の児童発達支援センターの運営体制、費用対効果なども参考にしながら研究していきたいと考えている。

山下 富美子 形式複 合

## 持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた本市の認識は

**問** 自治体によるSDGs達成に向けた取り組みは、地方創生を推進するものでもあると考えるが、本市の認識は。

**答** 企画部長／沿津市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、地場産品の振興やリノベーションまちづくりの推進、防災対策など、SDGsの達成につながる施策をさまざまな分野で推進することは、本市が目指すべきまちづくりの実現に資するものであると考えられることから、引き続き、SDGsの理念に沿った地方創生に取り組み、持続可能な社会の実現に努めていく。

**問** SDGsの目標十三では、気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じるとしているが、これに対する本市の認識は。

**答** 危機管理監／近年頻発している風水害には気候変動の影響があることから、CO2削減等の地球温暖化対策を初め、防災面においても、地域や関係機関と連携し、ソフト、ハード両面からさまざまな対策を推進することで、自然災害に対する強靱性や適応能力の強化を図る必要があると考えている。



▲持続可能な開発目標(SDGs)の一つとして気候変動対策が掲げられている

渡邊 博夫 形式一 括

## 焼却処理している汚れたプラスチックごみを減量するための目標設定は

**問** 今後策定予定の沼津市地球温暖化対策実行計画に基づき積極的な地球温暖化対策をしてもいいが、計画の策定状況は。

**答** 生活環境部長／本計画は令和二年度に策定予定であり、国や県の計画などとの整合性を図りながら、気候変動の状況等を踏まえて検討していきたいと考えている。

**問** 現在、本市では汚れてリサイクル処理ができないプラスチックごみは清掃プラントで焼却処理しているが、これによるCO2削減のためには、定期的に行っている燃やすごみの組成分析により現状の焼却処理量の

を把握し、プラスチックごみの減量目標を設定する必要があると考えるが、本市の考えは。

**答** 生活環境部長／国の通知に基づき、施設の維持管理を目的に行っている燃やすごみの組成分析は、燃やすごみの中身や量を測定するものではなく、焼却処理しているプラスチックごみの量を把握できないため、その削減目標を設定することは考えていない。



▲現在焼却処理している汚れたプラスチックごみ

## 統一的な基準による地方公会計制度導入の背景と目的は

**問** 本市では平成二十九年度から総務省の求める統一的な基準により財務書類等を作成しているが、その背景と目的は。

**答** 財務部長／従来の現金主義を基本とした制度では、人口減少等の社会情勢の変化に加え、公共施設のマネジメントや受益者負担の適正化などの行政課題に必要な情報が見えにくいといった課題があった。このため、従来の制度を補完し、財政運営を効率的にかつ適正に行うため、資産、負債などのストック情報や減価償却費などのコスト情報から財政状況を分析、検証する複式簿記による

発生主義会計の考え方を取り入れたものである。

**問** 統一的な基準による財務書類等を分析することで、本市の財政運営について市民にわかりやすく説明すべきと考えるが、本市の認識は。

**答** 財務部長／本制度の熟度が高まることで、財政運営において全国的な判断指標による比較ができ、市民にとってなじみのない財務書類についても図や表を用いるなどしてよりわかりやすく示すことができることと認識している。今後も引き続き、国の動向や先進自治体の取り組みを注視し研究していきたいと考えている。

大場 豪文 形式一 括

江本 浩二 形式一 問一 答

## 幼児教育・保育の無償化以後の本市独自の支援策は

**問** 幼児教育・保育の無償化により市町間で格差のあった保育料が横並びとなった中、子育てしやすいまちを提唱する本市としては、子育て世代の定住を促進するための環境整備をさらに進めるべきと考えるが、本市独自の支援策は。

**答** 福祉事務所長／無償化以前も、本市は国の基準を上回る独自の基準を設け、保育料減免対象の拡大などの措置を講じてきた。無償化以後も、三歳未満児の保育料や副食費の減免について一定の条件下で国の基準を上回る手厚い支援策を展開しており、今後も、子育てしやすいまち沼津の

実現を目指し取り組みを進めていく。

**問** 自動ブレーキなどの機能を備えた安全運転サポート車や安全運転支援装置は高齢者の運転事故を減少させる有効な手段であると考えているが、本市の取り組みは。

**答** 企画部長／自動車メーカー等と連携した講座や体験会を開催するなど、事故防止の効果や有用性についての周知を図っていく。また、安全運転支援装置の設置に対する補助金などについても、国等の動向を注視しつつ、高齢者に対するより効果的な安全運転支援について研究していきたいと考えている。

片岡 章一 形式一 括

長田 吉信 形式一 括

## 近年頻発する風水害への防災・減災対策は

**問** 台風等の風水害に係る業務継続計画の策定が必要と考えるが、計画策定についての認識は。

**答** 危機管理監／本市において、地震・津波時における業務継続計画は策定されているが、風水害時における計画は未策定となっているため、業務継続計画の早期の策定に向け、検討をしていきたいと考えている。

**問** 地震・津波に加え、近年では、激甚化する風水害による災害も頻発しているため、その対策には万全を期していかなければならないと考えるが、防災・減災対策に対する本市の認識は。

**答** 市長／近年、災害が激甚化、大型化、広域化する中、国の中央防災会議において、突発的に発生する激甚な災害に対しては行政主導の対策に限界があるとし、住民主体の防災対策に方針転換すべきと報告された。今後は、住民みずからの判断で命を守る避難行動をとる自助と、みずからの地域は地域で守る共助がますます重要になると考えている。これに、行政の役割である公助が一体となつた災害対策を確実に進めることにより、市民の安全・安心のまちづくりを全力で取り組んでいきたいと考えている。



## 大雨時の狩野川の氾濫を防ぐための今後の対応策は

**問** 台風第十九号により狩野川に氾濫の危険が生じたが、氾濫に対する市民の不安を解消するための今後の対応策は。

**答** 建設部長／台風第十九号における狩野川の水位の状況や今後の気象変動等による豪雨への懸念がある中で、まずは狩野川水系河川整備計画の未整備部分の早期完成が重要であると認識している。そのような中、国土交通省により、下河原地区における堤防整備や大平地区の堤防整備に合わせた樋管改築が進められているが、狩野川水系黄瀬川の大岡地区などのその他未整備区間への優先的

な対策の実施も必要であると認識している。また、ハード、ソフト対策を総合的に推進するために設置した静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会などにおいて、国や県、流域市町と連携をしながら対策を進め、市民の安心・安全の向上に努めていきたいと考えている。



▲下河原地区の狩野川堤防工事

## 食品ロスの削減に向けて効果的な周知を

**問** 食品ロスの削減に向けて、市民意識を啓発するための取り組みは。

**答** 生活環境部長／食品ロスの削減に向けては、これまでにエコ料理教室やぬまづ環境市民大学での食品ロス削減講座の開催、使い切り、食べ切り、水切りの三きり運動の普及などに取り組んできた。今後もこのような取り組みを引き続き行うとともに、食品を残すことがもつたいないという意識が市民に根づくよう他市の事例等を参考にしながら食品ロスの削減に向けた周知に努めていく。

**問** 十三歳未満の児童に対するインフルエンザの予防接種にかかる費用

を助成する考えは。

**答** 市民福祉部長／インフルエンザの予防接種は、かつて予防接種法に基づき学童等を対象に実施されていたが、平成六年の同法の改正により除外され、その後の国における検討会議においても任意接種とすることが適当であるとの結論に至っている。そのため、任意接種とされている子供への予防接種を助成により促すことは慎重であるべきという認識であるが、子供の受験対策や子育て世帯への経済的支援等の観点から、全国の自治体の状況などを考察し、引き続き研究していく。

小泉 宣子 形式一 括

## 鉄道高架事業の再検討を

**問** 将来的に財政負担を生む鉄道高架事業は白紙に戻して再検討すべきと考えるが、その認識は。

**答** 沼津駅周辺整備部長／鉄道高架事業を初めとする沼津駅周辺総合整備事業は、鉄道による市街地の分断や日常的な交通渋滞の発生などの長年の課題を抜本的に解決し、交通の円滑化のみならず、回遊性や拠点性が向上し、南北市街地の一体化が図られる事業である。さらに、鉄道跡地等を活用することで民間投資が促進されるとともに、その経済効果やにぎわいが全市に波及し、結果として、雇用の創出、交流人口の拡大や

定住人口の確保につながり、ひいては、地域経済の好循環が生まれ、財源確保にも寄与する事業である。また、鉄道高架事業を初めとする沼津駅周辺総合整備事業にかかる今後四十年間における平均実質負担額は一年当たり九・一億円としており、この負担額は、本市の財政規模に照らし合わせても一般財源に占める割合は決して過大となるものではなく、事業の成果を享受する将来世代に負担をお願いすることは合理的であり、本事業は確実に遂行できるものと認識していることから、事業の見直しは必要ないと認識している。

梅沢 弘 形式一 問一答

## 自殺予防対策に向けて密接な庁内連携を

**問** 本市における自殺者数の現状と自殺対策に対する認識は。

**答** 市民福祉部長／平成三十年の本市の自殺者数は三十七人で、平成二十七年から三年間続いた三十九人から二人減の微減の状況となっている。全国の年間自殺者数は平成十五年以降減少傾向にあるが、国の自殺総合対策大綱で述べられているとおり、非常事態はいまだ続いているという認識を持って自殺対策に取り組んでいく必要があると認識している。

**問** 自殺に追い込まれる人には人間関係等さまざまな課題が複雑に関係していることから、組織的な連携が

必要と考えるが、本市における庁内連携体制は。

**答** 市民福祉部長／自殺予防に対しては、いのちを支える沼津市自殺予防対策行動計画に基づき総合的に取り組んでおり、相談の内容及状況に応じて関係課職員の関与や情報共有、ケース検討を行うなど、円滑な庁内連携に努めている。また、令和元年度に、悩みを抱える人に寄り添って悩みを聞き、必要な支援につなげるゲートキーパーの養成講座を職員に対して開催したことは、庁内連携への意識向上に資するものと捉えており、今後も引き続き取り組んでいく。

平野 謙 形式複 合

## 不登校児童生徒、 障害のある児童生徒への本市の対応は

**問** 不登校の児童生徒は、成績がつかない場合があると聞く。学習内容の理解度に応じて成績へ反映させれば、進路の選択肢が広がり、児童生徒や保護者が安心できると考えるが、本市の対応は。

**答 教育長／保健室など別室への登校であっても出席日数に加えており、学習への取り組みや理解度を考慮しながら、成績を評価していく。**

**問** 困り感のある児童生徒への対応として、個別の教育支援計画が有効であるが、保護者への周知が不足していると感じる。市が学校へ説明を行い、学校が保護者へ提案すること

で、個別の教育支援計画の活用が図られると考えるが、本市の認識は。

**答 教育長／個別の教育支援計画は、新学習指導要領において、特別支援学級または通級指導教室に在籍する児童生徒については必ず作成し、通常学級に在籍する困り感のある児童生徒についても作成に努めることになっているため、教育委員会から学校へ積極的に働きかける必要性があると認識している。令和元年六月に行った特別支援教育に係る研修会で、個別の教育支援計画の作成と活用について、各学校の参加者に対し保護者への周知を指導したところである。**

## 同報無線デジタル化整備事業における 戸田地区への対応は

**問** 戸田地区における同報無線デジタル化について、①事業完了時期は。②同報無線の音声が届きにくい区域への対応は。③各世帯へ、戸別受信機が無償貸与で設置されているが、デジタル化後の対応は。

**答 危機管理監／①戸田地区の同報無線デジタル化工事は既に完了し、運用を開始している。②住民から音声が届きにくいという意見があった場合には、現地を確認し、スピーカーの増設や交換、方向や音量の調整などを行い、解決に努めている。③電波法の規定により、令和四年十一月にアナログ電波の発射が規制**

され、それ以降、現在貸与している戸別受信機は使用できなくなるため、今後は、危機管理情報メールや防災アプリ、同報無線自動応答システムなどにより、各戸に同報無線の内容が届くように努めていく。デジタル化に対応した戸別受信機の必要性については、市民に対する情報伝達手段の多様化について引き続き研究をし、検討していく。



▲戸田地区に新たに増設された同報無線

水口 淳 形式一 括

## 小中学校の給食調理場、特別教室へ エアコンの設置を

**問** 職員の労働環境を考慮し、小中学校の調理場や特別教室等へのエアコンの設置が必要であると考え、①労働安全衛生法に基づく安全衛生委員会等で、どのような議論があったのか。②本市の認識は。

**答 教育次長／①安全衛生委員会や校内での環境監査において、エアコンの設置についての具体的な議論は出ていない。②調理場については、食品の衛生管理面などからエアコンの設置の必要性を認識しており、二十七調理場のうち十一調理場にエアコンを設置した。エアコン未設置の調理場については、現在策定中の**

公共施設マネジメント個別施設計画における、施設の統合や長寿命化改修を踏まえた上で、エアコンの設置を検討していく。特別教室については、窓の開放により静寂さを保ちにくい図書室や、楽器演奏や合唱により住民に迷惑をかけてしまう音楽室は、エアコンの設置の必要性が高いと判断し、優先的に整備を進めているところである。



▲門池小学校調理場に設置されたエアコン

渡部 一二実 形式一 括

## 自治会役員の担い手確保のため 自治会長業務の軽減を

**問** 自治会長の業務量に対する認識と業務軽減策は。

**答 企画部長／自治会長には定期、不定期の会議への参加依頼や毎月二度の広報紙配布を初めとした周知事務など、多くの業務を依頼しているところであり、このことが自治会長や役員の担い手確保の課題となっていると認識している。そのため、依頼業務の削減や、自治会長等が出席する委員会の開催数の削減などの取り組みを進めており、今後も、関係各課と調整し業務の精選に努め、自治会長の負担軽減を進めていく。**

**問** 外国籍の児童生徒や保護者への

支援体制の整備が大きな課題であると考え、教職員の対応能力強化に向けた自動翻訳技術導入の必要性について、本市の認識は。

**答 教育長／自動翻訳技術の導入は、日本語を理解できない児童生徒の初期段階やトラブルが起きた場合のほか、教員への相談や保護者との面談時において役立つものと考えている。近年では、タブレットやスマートフォンなどにおいて、性能のすぐれた翻訳機能を有する無料アプリが開発されているため、今後の各学校へのICT機器の整備にあわせ、活用できるよう検討していく。**

霞 恵介 形式一 括



## 本市が進める人中心のまちづくりとは

**問** 本市が進める人中心のまちづくりとは。

**答** 市長／中心市街地において、道路のあり方を見直すなど、さまざまな検討を行うことにより、人に優しく快適に活用できる公共空間を創出し、居住や買い物を初め、多くの人が集うことでまちに元気にぎわいをもたらすことのできるまちづくりを進めている。

**問** 地域拠点のまちづくりは生活機能が身近で完結することが必要であると考えますが、本市の認識は。

**答** 都市計画部長／地域拠点については、人口減少社会の中でも市民が

毎日の暮らしで活動する中学校区ごとのまちづくりが重要であると認識しており、人口集積が多い地域拠点については、地域住民の日常生活を支えるため、利用頻度の高い公共公益事業施設の適切な配置の検討や、商業、医療、福祉機能などの維持に努めるとともに、空き店舗や空き教室などの既存ストックの活用についても検討していく。一方、新東名高速道路や東駿河湾環状道路などの新たな交通基盤が近接する地域については、農地や山林などの自然環境資源に配慮しつつ、産業立地を促進することで雇用の確保を図っていく。

## 文化財センターを移転する考えは

**問** 市内外の多くの人が利用しやすいように、文化財センターを市の中心部または高尾山古墳近隣へと移転する考えは。

**答** 教育次長／文化財センターは、旧静浦西小学校の空き校舎を改修し、平成三十一年二月から供用開始したものであり、現時点においてさらなる移転は考えていない。なお、高尾山古墳から近い明治史料館において、古墳の概要について紹介しており、出土遺物の一部についてレプリカを製作し、展示する予定である。高尾山古墳の歴史的な価値を周知啓発するための保存や利活用する方法について

岡田 進一 形式一 括

では、都市計画道路沼津南一色線の設計競技の結果を踏まえ検討する。

**問** 高尾山古墳の国史跡指定に向けた進捗状況は。

**答** 教育次長／高尾山古墳は、その歴史的な重要性から国史跡指定を目指すものと認識しており、その手続については、都市計画道路沼津南一色線の設計競技において、道路デザインが決定したのち、具体的な道路設計などの状況を見きわめながら行っていく。

川口 三男 形式複 合

▲国史跡指定を目指す高尾山古墳



## 意見書

この意見書は、令和元年12月17日に全会一致で可決された後、関係官庁等へ送付しました。

※意見書とは、市だけの努力では解決できない公共の利益に関する問題について、市議会の意思をまとめて国や県に要望するものです。



## あおり運転に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書

令和元年8月、茨城県内の常磐自動車道で、男性が執拗なあおり運転を受けて車を停止させられ、容疑者から顔を殴られるという事件が発生した。また、平成29年6月には、神奈川県内の東名高速道路で、あおり運転を受けて停止した車にトラックが追突し、夫婦が死亡している。こうした事件、事故が相次ぐ中、あおり運転を初めとした極めて悪質、危険な運転に対して、厳正な対処を望む国民の声が高まっている。

警察庁は、平成30年1月16日に通達を出し、道路交通法違反のみならず、危険運転致死傷罪や暴行罪等のあらゆる法令を駆使して厳正な取り締まりを行っているが、あおり運転に対する規定はなく、効果的な防止策となっていない。今後、あおり運転の厳罰化に向けた法改正の検討や運転免許証更新時の講習などにおける交通安全教育のさらなる推進及び広報啓発活動の強化が求められる。

よって、国においては、社会問題化しているあおり運転の根絶に向け、安全・安心な交通社会を構築するため、下記の事項について早急に取り組むよう強く要望する。

### 記

- 1 道路交通法にあおり運転に対する罰則の規定を新たに設け、危険運転を行った場合のみでも厳しく処罰される海外の事例なども参考としながら、実効性のある法改正をするよう早急に検討を進めること。
- 2 運転免許証更新時の講習については、これまでの交通教則による講習に加え、あおり運転の危険性、その行為の禁止及び違反行為が取り締まりの対象であることを認識するための講習も行うこと。また、講習に使用する教本や資料などに、これらの事項を記載すること。
- 3 広報啓発活動については、あおり運転の行為が禁止されており、取り締まりの対象となることや、あおり運転を受けた場合の具体的な対処方法などについて、警察庁及び都道府県警察のホームページ、SNSや広報紙などを効果的に活用し、周知に努めること。

# 視察報告



## 議会運営委員会

令和元年8月5日～6日

東京都町田市、栃木県那須塩原市

「議会運営と議会改革の取り組み」



▲視察を受ける前に市の地場産品である牛乳で乾杯しました（那須塩原市）

町田市では、タブレット導入によってペーパーレス化による印刷コストの削減や、職員の労務費の削減によって、導入コストを含めても年間約100万円のコスト削減が見込めるとのことでした。また路線バスに「市議会を開きます」ポスターを掲出したり、高校生との意見交換会を開催したりするなどの取り組みを行っていました。那須塩原市では、議会基本条例の検証・外部評価の結果を受け、さらなる議会改革の推進に取り組んだり、議場での市民コンサートを開催したりするなど、両市とも議会力向上の取り組みはもちろん、議会に親しみを持ってもらふユニークな取り組みが行われていました。こうした他市の事例も参考に、本市議会においても、魅力ある議会の実現に努めていきます。

令和元年11月12日～14日

岡山県岡山市「平成30年7月の西日本豪雨災害」

兵庫県姫路市「市職員の業務におけるAIの活用」

奈良県奈良市「RPAを活用した業務の効率化」

岡山市では、平成30年7月の豪雨により川の堤防が決壊し、多くの被害が出た災害について学びました。発生直後の対応から今後の災害対応に至るまで、広く詳しい事例を知ることができました。姫路市では、市職員の業務におけるAIの活用について学び、手書きの申請書を自動でデータ化したり、市役所所有のデータを分析するシステムの活用など先進的な事例に触れることができました。奈良市では、RPAを活用した業務の効率化について学び、パソコン内の複数のアプリケーションをまたいでデータを自動入出力するシステムを活用し、時間外勤務を大幅削減できたとのことでした。3市いずれも、本市で有効活用の可能性がある要素が多数含まれた視察となりました。

## 総務委員会



▲パソコン上の業務を自動化するRPAについて学びました（奈良市）

## 文教産業委員会

令和元年11月6日～8日

愛知県知多市「新舞子マリナパーク」

愛媛県今治市「みなと再生事業」

滋賀県大津市「いじめ防止対策」



▲みなと再生事業及び海の駅について学びました（今治市）

知多市では、海洋性レクリエーションの拠点である「新舞子マリナパーク」での各種イベントの開催状況や、交流人口拡大に向けた取り組みなどを学びました。今治市では、交流を主体とした港空間を創出するみなと再生事業の概要や観光客・交流人口への影響、事業実施の核施設である「みなと交流センター」及び「海の駅」の管理運営や施設の利用状況などについて学びました。大津市では、いじめ対策推進室の設置に至る経緯、LINEを利用したいじめ防止対策事業、いじめ対策担当教員配置の効果などについて視察しました。今回の視察で学んだ内容は、委員会で調査研究を進めている「海を活用した交流人口の拡大」や、いじめ防止の取り組みに活かしていきます。



# 委員会の行政

## 民生病院委員会



▲市民主体のフレイル予防によるまちづくりについて学びました（西東京市）

令和元年10月29日～31日

千葉県柏市 「フレイル予防」

栃木県宇都宮市 「待機児童対策」

栃木県那須塩原市「那須塩原グリーンセンター」

東京都西東京市 「フレイル予防」

柏市では、増加する要介護認定者対策として柏フレイル予防プロジェクト2025を立ち上げ市民主体の活動を推進することでフレイル予防によるまちづくりに取り組んでいました。宇都宮市では、安心して子供を産み育てられる環境をより一層強化するため、さまざまな支援事業に取り組んでおり、行政挙げての工夫と施策により待機児童ゼロを達成したことを学びました。那須塩原市では、市の郊外に建設されたグリーンセンターを視察し、建設の経緯や廃棄物処理全般の説明を受けました。西東京市では、「楽しむ×共創」で進めるフレイル予防のまちづくりを掲げ、大学と連携し、市独自の取り組みを推進していました。これらの先進事例を参考に、今後、調査研究を進めていきます。

令和元年11月6日～7日

京都府京都市「無電柱化の推進に向けた取り組み」

福井県福井市「新栄テラスの取り組み」

京都市では、無電柱化の推進に当たっては、計画から完成まで長期にわたる期間及び多額のコストがかかることから、地域住民及び電線管理者との合意形成が整う見込みの高い道路並びに地上機器設置に一定の目途が立っている道路を早期に着手していくとのことでした。その上で、景観保全・再生及び防災という観点から、目指すべき将来像を明確に示して事業に取り組んでいる点が参考になりました。福井市では、市営自転車駐車場と低未利用地の用途を交換するという事業スキームにより、商店街駐車場を屋外広場として有効活用している事例を視察しました。交換後のいずれの用途も効果が発現し、データ上からもまちなか全体により影響が見られたとのことでした。

## 建設水道委員会



▲低未利用地の効果的な活用手法について学びました（福井市）

## 沼津駅鉄道高架事業 推進特別委員会



▲鉄道高架事業を中心とした岐阜駅周辺整備事業の効果について学びました（岐阜市）

令和元年8月21日～23日

岐阜県岐阜市「岐阜駅周辺鉄道高架事業及び岐阜駅周辺整備事業」

福井県福井市「福井駅付近連続立体交差事業及び福井駅周辺土地区画整理事業」

富山県富山市「富山駅付近連続立体交差事業及び富山駅周辺整備事業」

岐阜市では、岐阜シティタワー43の最上階から岐阜駅周辺の再開発事業の状況等を視察しました。福井市では、令和4年度末の北陸新幹線開通を視野に入れた福井駅のＪＲ北陸本線と、私鉄であるえちぜん鉄道の連続立体交差事業と、駅周辺の区画整理事業等の状況を視察しました。富山市でも、北陸新幹線の開業を契機とした北陸新幹線建設事業や、ＪＲ高山本線の連続立体化事業及び駅周辺の区画整理事業等の状況を視察しました。3市はいずれも本市より規模の大きな都市でしたが、静岡県東部の拠点都市として見習うべき点が多々ありました。これら先進的事例の高架下利用実態も参考にしながら、今後も事業の推進に向けて取り組んでいきます。





新成人議会参加者  
(戸田地区)  
さとう はな  
佐藤 花奈さん

## ぼくとわたしの ゆめ たから



新成人議会参加者  
(市立校中等部出身)  
おのだ たつや  
小野田 竜也さん

### 海と私

私は現在ふるさとの沼津を離れて、北海道の大学で水産関係の勉強をしています。この学部を志したきっかけは、私の生まれ育ったまちである戸田の海が大好きだったからです。幼い頃から海で遊んだり、海産物を食したり、海は私の生活の一部でありました。

将来、私は水産関係の仕事に就きたいと考えています。水産業の発展に貢献することは地元への恩返しにもなると思います。残り二年間、一生懸命勉強し、ここまで私を育ててくれた沼津の発展の一助となれたらいいと思います。

私はこの沼津という街が大好きです。沼津市には海があり、山があり、街があり、田園風景があり、人々の温かさがあります。都会に負けないものがこの街にあることに、沼津を離れて気づきました。私には沼津を世界一素敵で豊かな街にしたいという夢があります。伝統の商店街と、革新的な商業施設の融和・融合、駅から離れた施設への移動手段としての交通機関の整備など、沼津を進化させる鍵は山ほどあると思います。まずは自分が、沼津の発展を支援できるような立派な成人になれるよう精一杯努力します。

愛して止まない沼津を世界一に

### 議員研修会を開催しました

令和2年1月28日、公益社団法人日本フェンシング協会会長太田雄貴氏を招き、「地方都市とスポーツ交流～フェンシングを通じたまちづくり～」と題して、議員研修会を開催しました。

沼津市は、平成31年2月に日本フェンシング協会と全国初の包括連携協定を締結しており、フェンシングによって沼津の活性化を図る取り組みを進めています。研修会には、議員のほか市長や関係部署の職員も参加し、太田雄貴会長の熱心な講義に耳を傾けました。

行政と議会が今後のビジョンを共有し、フェンシング拠点都市を目指したまちづくりを強力に推し進めるに当たって、大変有意義な研修会となりました。



### 公契約関係競売入札妨害等事件に係る再発防止特別委員会の設置

公契約関係競売入札妨害等事件を受け、事件に係る適時適切な報告を受けるとともに、再発防止策に関する調査・研究を行うため、地方自治法第109条に基づく特別委員会を設置し、次の10人の委員を選任しました。

|           |          |
|-----------|----------|
| 委員長 梶 泰久  | 委員 長田吉信  |
| 副委員長 平野 謙 | 委員 渡部一二実 |
| 委員 尾藤正弘   | 委員 渡邊博夫  |
| 委員 久保田吉光  | 委員 浅原和美  |
| 委員 山下富美子  | 委員 川口三男  |

### 沼津の未来を担う新成人が市政を問う

令和2年1月12日に、新成人が議員役を務める新成人議会が市議会本会議場で開催され、新成人35人が参加しました。代表して4人が市政に関する質問を行い、市長や教育長が答弁しました。

また、質問者以外の新成人も、『わたしにとっての「沼津の誇り」と「挑戦」』をテーマに、それぞれ思いを語りました。

【新成人議会に関するお問い合わせ】生涯学習課 ☎ 055-934-4871

### 全員協議会を開催しました

令和元年12月5日に市職員の逮捕について、12月10日に第5次沼津市総合計画基本構想案に係る総合計画審議会からの答申について、全員協議会を開催し、市当局から報告を受けました。

### 議会だより編集委員会

委員長 梶 泰久  
副委員長 加藤 明子

委員 浅田美重子  
委員 平野 謙

委員 小泉 宣子  
委員 深田 昇

委員 岡田 進一  
委員 江本 浩二